News Release

報道関係各位



No. 22-000083R 2023 年 2 月 16 日 ヒューマンリソシア株式会社

~法人向け RPA スキル取得研修の受講企業が 1,500 社を突破~

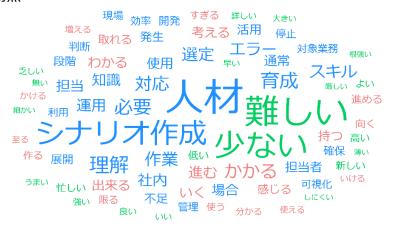
DX 推進に向け RPA の全社横断的な利用が進む中、 保守・運用を担う RPA 人材育成ニーズが高まる

総合人材サービス会社で、RPA をはじめとした IT ソリューションを活用したデジタル化支援サービスを展開するヒューマンリソシア株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:御旅屋 貢、以下「当社」)はこのたび、RPA ソリューション「WinActor」(※1)のスキル取得研修の受講企業が累計 1,500 社を突破したことをお知らせいたします。

受講者アンケートからは、RPA が普及し、部門導入から全社的に利用が拡大する中、保守・運用に関する課題感が高まり、RPA 活用の拡大には、RPA 人材の育成が一層重要であることがわかりました。

【本件のポイント】

- 「WinActor」スキル取得研修受講企業数が、導入企業 7,500 社以上(※2)の2割となる1,500 社を突破
- ●全社横断的な利用が進む中、IT や情報システム部門など全社的な推進部門の受講者が増加
- ●保守・運用を担える RPA 人材育成の難しさが、活用拡大を阻害
- ※1 WinActor®は、NTT アドバンステクノロジ株式会社の登録商標です。
- ※2 2022年11月末時点



▲アンケート回答から RPA 活用拡大の阻害要因を可視化、人材育成に課題があることが伺える

ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析(https://textmining.userlocal.jp/)

■ RPA スキル取得研修受講社数が、1,500 社を突破

労働人口減少や人材不足などを背景とした、生産性向上に向けた業務自動化ニーズの高まりを受け、2017 年11月より、RPA ソリューション「WinActor」の導入支援サービスを開始しました。同時に、顧客企業の RPA 担当者を対象としたスキル取得研修を開始し、以降、研修カリキュラムや、e ラーニングやオンラインプログラム開始など、ラインアップを拡充してきました。 DX 推進などにより RPA 活用が拡大する中、このたび、RPA スキル取得研修受講企業数が、「WinActor」導入企業 7,500 社超の約 2 割となる、1,500 社を突破しました。

■本件に関するお問い合わせ■

ヒューマンリソシア株式会社 広報担当 吉田 E-mail: resocia-pr@athuman.com

RPA 研修受講者のアンケート結果からは、RPA の利用が、部門導入から複数部門、そして全社横断的に拡大していることが伺えます。一方で、「RPA シナリオ(※3)が停止した時の対応」といった、管理・運用面での課題が増え、これらに対応できる RPA 人材の育成ニーズが高まっています。

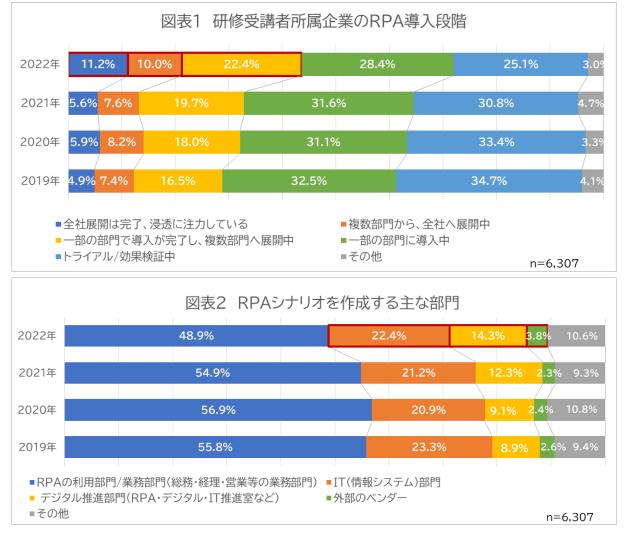
当社としては引き続き、課題解消に向けたソリューション提供とともに、リスキリングによる人材育成に取り組むことで、RPA をはじめとした IT 活用により、顧客企業の DX 推進を支援してまいります。

※3 シナリオとは、作業をフローチャート形式で手順化したもので、このフローチャートをもとに RPA が作業を自動実行します。

■研修受講者アンケート結果

<RPA 利用拡大により、全社横断的に管理・運用するケースが増える>

研修参加者の RPA 導入段階を受講年で比較すると、一部の部門で導入を開始し、徐々に複数部門や全社横断的に RPA 活用が進んでいることがわかります(図表 1)。これに伴い、IT や情報システム部門といった全社部門でシナリオ作成を行うケースが増え(図表 2)、RPA の活用・運用を全社横断的に管理している企業が増えていることがわかります。



※図表 1 および図表 2 は、所属企業にかかわらず、回答数で集計しています。

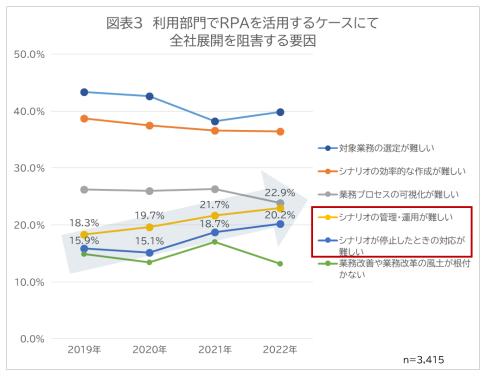
■本件に関するお問い合わせ■

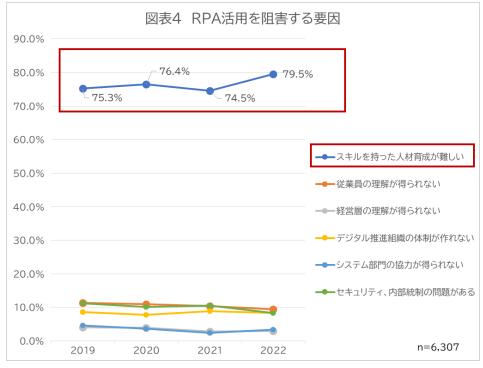
ヒューマンリソシア株式会社 広報担当 吉田 E-mail: resocia-pr@athuman.com

<RPA の保守・運用を担う人材育成が課題に>

複数部門や全社展開を図る上で新たに課題として表面化してきているのが、シナリオの管理・運用体制に関する問題です。特に、総務や経理などの業務部門、営業などの利用部門が自らシナリオ作成しているケースにおいて、「シナリオの管理・運用が難しい」、「シナリオが停止した時の対応が難しい」と回答する割合が増えています(図表 3)。また、回答者の約 8 割が、「RPA スキルを有する人材育成が難しい」ことを、RPA 利用を阻む要因として選択しています(図表 4)。

RPA ソリューションは、利用部門自ら運用できるメリットがある一方、担当者の IT に関する知識やスキルの不足、またシナリオにおいては作成者の不在や管理・運用不備などに起因する問題が顕在化してきており、RPA の保守・運用を担える人材育成が急務であることが伺えます。





ヒューマンリソシア DX 事業本部 営業本部長 関 和成

RPA 全社活用には、「人つくり(教育)」と「ルールつくり」が不可欠です。 今回のアンケートで約 8 割が「スキルを持った人材育成が難しい」と回答していますが、この問題の難しさは、「目の前の人材をどう育成するか」だけでなく、「長期的に運用することを見据えた仕組みづくりが必要」という点があります。 DX 推進に向かう中、IT 活用によるデジタル化効果を最大化するため、当社では引き続き、「人」・「ルール」つくりを支援してまいります。



【アンケート調査概要】

実施期間: 2019年8月6日~2022年12月31日

調査対象: 当社法人向け RPA シナリオ作成技術者養成研修の参加者

回答数 : 6,307件

調査方法: 研修受講後に実施したインターネットによるアンケート調査

※調査結果の構成比は、小数点以下を四捨五入して算出しているため、合計値は必ずしも 100%とはなりません。

※回答者数で算出しています(同一企業より複数名が異なる回答をしている場合も、回答数で算出しています)。

<IT ソリューションを活用したデジタル化の推進・支援サービスについて>

「Work Innovation」をミッションに、RPA をはじめとした IT ソリューションの導入・活用によるデジタル化を支援しています。ヒューマングループの中核事業である"教育"を起点としたデジタル・テクノロジー活用スキル向上に向けた、教育支援が強み。人材サービス会社としてのノウハウとデジタル人材の育成、IT ソリューションの提供と定着支援まで、企業の業務デジタル化を強力にサポートします。

●サービスサイト URL: https://dx.resocia.jp/

<ヒューマンリソシアについて>

総合人材サービス会社として、人材派遣、人材紹介、業務受託サービスを全国 27 拠点で展開しています。1988年創業以来、教育事業をバックボーンに多彩なサービスを展開するグループの総合力を活かし、「人材」に関する幅広いサービスを提供しています。

●ヒューマンリソシア WEB サイト: https://resocia.jp

<ヒューマングループについて>

ヒューマングループは、教育事業を中核に、人材、介護、保育、美容、スポーツ、IT と多岐にわたる事業を展開しています。1985年の創業以来「為世為人(いせいいじん)」を経営理念に掲げ、各事業の強みを生かし、連携しながらシナジーを最大限に発揮する独自のビジネスモデルにより、国内 300 拠点以上のネットワークでお客様に質の高いサービスを提供しています。

●ヒューマンホールディングス WEB サイト: https://www.athuman.com/

会社概要

ヒューマンリソシア株式会社

●代表取締役: 御旅屋 貢 ●所在地: 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階

●資 本 金: 1億円 ●U R L: https://resocia.jp

■本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンリソシア式会社 広報担当 吉田

E-mail: resocia-pr@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ■ ヒューマングループ 広報担当 若林、平

E-mail: kouhou@athuman.com